

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：子ども福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県聴覚障害者支援センター(津市桜橋二丁目131番地)
指定管理者の名称等	一般社団法人三重県聴覚障害者協会 会長 深川誠子 (津市桜橋二丁目131番地)
指定の期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者等用の録画物、その他各種情報を記録した物の制作または貸出に関する事。 ・手話通訳者、要約筆記者及び盲ろう者通訳・介助員の養成または派遣に関する事。 ・情報支援機器の貸出、聴覚障がい者の生活等の相談など、地域生活の支援に関する事。 ・災害発生時における被災者支援に関する事。 ・センターの施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 ・その他センターの管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H27	B		・機器の管理や点検、必要な修繕を行うなど適切な施設管理を行っており、管理業務の実施状況は良好である。
H28	B		
H29	B		
H30	B		
R元	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H27	A		・手話通訳者等養成講座や生活訓練事業、相談事業を実施しているほか、聴覚障がい者・支援団体の会合や研修に利用される等、積極的な施設の利用の促進が図られている。 ・利用者の要望に基づき、受付に簡易筆談機や助聴器、窓口用磁気ループ等の聴こえを支援する機器を設置する等、利用環境の改善に努めている。 ・施設利用者数の目標を全ての年度で達成しており、施設の利用状況は良好である。
H28	A		
H29	A		
H30	A		
R元	A		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	143,175,000	事業費	71,626,274
利用料金収入	0	管理費	71,825,146
その他の収入	734,422	その他の支出	0
合計 (a)	143,909,422	合計 (b)	143,451,420
収支差額 (a)-(b)	458,002		

参考

利用料金減免額	-
---------	---

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H30実績値	R元実績値
H27	B		施設利用者数	4,000人	4,247人	4,263人	4,334人	4,655人	4,316人
H28	B		手話通訳者、要約筆記者及び盲ろう者通訳・介助員のスキルアップ研修受講申込者数	360人	363人	369人	362人	395人	372人
H29	A		手話通訳者、要約筆記者及び盲ろう者通訳・介助員の年間総派遣時間数	2,500時間	1,855時間	2,325時間	2,281時間	2,175.5時間	2,743時間
H30	B		情報発信回数	48回	217回	206回	183回	149回	135回
R元	A		災害時における避難行動要支援者に関する協定数	10市町	8市町	8市町	9市町	10市町	11市町
全期間におけるコメント									
<p>・施設利用者数について、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年度から減少したが、全ての年度で目標を達成している。</p> <p>・手話通訳者等のスキルアップ研修受講申込者数について、全期間を通して目標値を上回る水準を維持し、手話通訳者等の能力向上に努めている。</p> <p>・手話通訳者等の総派遣時間数について、県内の福祉関係団体への周知や県民への普及啓発により利用促進に努めた結果、令和元年度に目標値を達成している。</p> <p>・情報発信回数について、聴覚障がい者・支援者の交流会や県民に向けた講演会の開催に注力したほか、情報を集約したホームページの更新を行った結果、全期間を通して目標値を大幅に上回る実績を達成している。</p> <p>・災害時の支援協定数について、未締結市町へのアンケート調査や働きかけを行った結果、目標値を達成している。</p>									

6 総括評価

・施設利用者数について、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年度から減少したが、広報紙の発行やホームページの更新に加えて、聴覚障がい者・支援者の交流会や県民に向けた講演会の開催等の普及啓発に努めた結果、目標値より多い利用実績を維持している。

・手話通訳者等のスキルアップ研修受講申込者数と年間総派遣時間数ともに全期間を通じて目標を達成しており、手話通訳者等の能力向上に努めるとともに、聴覚障がい者の意思疎通支援を推進していると評価できる。

・手話通訳者等の養成・派遣に加えて、字幕映像ライブラリーの製作・貸出、難聴者・中途失聴者への生活訓練等の支援を実施し、聴覚障がい者等の情報保障を引き続き積極的に推進する必要がある。

・成果目標が設定される業務のほか、企業・団体からの聴覚障がい者への合理的配慮の提供に係る相談対応や、男女共同参画社会の実現(センターの女性職員比率50%)等、県施策への配慮が実施されている。

・災害時の支援協定について、未締結市町へのアンケート調査や働きかけを行い、協定締結市町が増加している。加えて、協定締結市町の防災訓練への協力等、災害時に実効性がある活動実施に向けて協定締結市町との連携を実施している。

・災害時の支援協定に基づく防災訓練への協力等の協定締結市町との連携強化を引き続き実施するとともに、それらの取組の中で把握した課題に応じてセンターの対応マニュアルを改定するほか、引き続き未締結の市町への働きかけを行うなど、災害時の聴覚障がい者支援の体制を更に強化する必要がある。

・成果目標をすべて達成しており、センターの指定管理者として適切に管理・運営していると評価できる。

「2 管理業務の実施状況」の自己評価 : 「A」 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」 業務計画を順調に実施している。
「C」 業務計画を十分には実施できていない。
「D」 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

「3 施設の利用状況」 : 「A」 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」 当初の目標を達成している。
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 : 「C」 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

県の評価 : 「+」(プラス) 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」(マイナス) 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」(空白) 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。